

04/21 - 04/28

大阪ヘルスケアパビリオン
「リボンチャレンジ」



地球に限りある水資源を
安全に利用するための
環境調査の重要性を訴求

環境調査・分析・測定のリディングカンパニー

1975年の創業から水質、大気、土壌、騒音、振動、アスベストなど環境全般の調査・分析・測定を行っている株式会社総合水研究所。所有する分析装置の台数や、技術士・環境計量士・公害防止管理者など多種多様な資格取得者を含めた約200名の従業員数規模は、業界トップクラスです。なかでも同社の強みは水質の調査・分析・測定で、1日に約400検体の分析をこなしています。

同社への高い信頼性は、日本水道協会の委託試験所であり、浄水器協会認定試験機関であることからわかります。抗菌製品技術協議会(SIAA)のJNLA試験事業者(証明書発行機関)の認証も取得しています。



土壌汚染状況調査

子どもたちが楽しめる「ウォーターラボ ミュージアム」を出展

大阪・関西万博では、環境調査・分析・測定という事業内容を広く伝えることを狙いとして、特に未来を担う子どもたちにもわかりやすい実体験型の「ウォーターラボ ミュージアム」を出展します。具体的には汚れた水を顕微鏡で覗いたものを映像として流したり、砂利や活性炭などを詰めたろ過装置で濁った水が浄化されるようすを実際に見たり、さらに一番の目玉として、子どもたちがその場で描いた魚などの絵がスクリーンの中で泳ぎ出す演出を考えています。また、同社は運営参加サプライヤーとして、万博開幕前の水質調査に協力しています。



汚泥処理実験

水資源を安全に利用するための環境調査・分析の重要性を訴求

地球上の水のほとんどが海水であり、私たちが利用できる淡水はごくわずかであることや、それが天然のろ過装置を経て繰り返し利用されていること、そして自然界にも人体に有害な物質があり、井戸水などの利用にも検査や分析、測定によって安全性が確認されていることなどを紹介します。

あわせて、汚れた水がどのようにして浄化されるのか、そしてその安全性がどのように検査・分析・測定されて確認されているのかなど同社の事業内容をわかりやすく紹介するとともに、日頃何気なく利用している水の大切さを次世代の子どもたちに訴求します。



石綿(アスベスト)事前調査

企業概要

所在地 〒590-0984
堺市堺区神南辺町1-4-6
TEL 072-224-3532
設立年 1975年
資本金 5,000万円
従業員 200名

公式サイト

さかしる



次世代を担う子どもたちの心に残る技術のアピールを



代表取締役会長
待田 裕美 さん

大阪・関西万博の開催が決まると同時に、当社も必ず何かで参画したいと思わず水質調査のサプライヤーとして登録しました。あわせてパビリオンへの出展も決まり、とても喜んでます。10代で見たEXPO'70の感動が今も忘れられません。まるで空中を車が行き交うような立体高速道路の模型が展示されていたことを覚えています。本当にこんな夢のような時代が来るのだろうかと思ったことが現実になっています。当社が展示する技術も、子どもたちの心にずっと残ってくれたら嬉しいです。

事業内容

調査・分析・測定、各種実験・試験
認証サポートなど

主な取引先(納入先)

水処理メーカー、ゼネコン
コンサルタント
各種アトラクション施設

主な製品・サービス等

水質・土壌・環境・大気・食品
などの調査・分析・測定、各種
実験・試験、認証サポートなど